

わ げん あい ご

和顔愛語

2009
VOL.14

 真生会富山病院だより



院内感染対策講習会開催

富山福祉短期大学看護学科 境美代子氏を講師にお招きし「正しい医療関連感染対策の基礎知識」をテーマにご講演いただきました。



医療安全講習会開催

「医薬品使用時の安全管理に必要な新しい視点」と題して、金沢大学附属病院医療安全管理部 准教授 古川裕之氏から、報道事例から学ぶをテーマにご講演いただきました。



看護部総会開催

平成20年度の総括と平成21年度の看護部の目標、方針などについて発表された。

長久栄子看護師が学んでいる「緩和ケア認定看護師教育課程」での実体験から、緩和ケアの正しい知識と重要性の報告がなされた。



看護の日

総合案内前エントランスホールで、健康相談、測定コーナー、医療相談など、地域の皆様に、より健康でお過ごしいただくため、看護の心を届けました。



フレッシュセミナー

社会人、医療人としての教育に力を入れ、研修会や勉強会を通して、よりよい医療、サービスの提供できるよう努めています。



情熱の白衣

内科医師

ふたむら あきひろ
二村 明広

●インタビュアー
看護部 アイセンター準備室 師長 楠 早苗

ESDについて

(内視鏡的早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)



消化器内科医師
まつむら たかゆき
松村 孝之

INTERVIEW

9

ふたむら あきひろ
内科医師 **二村 明広**

インタビュー
看護師 アイセンター準備室 師長 **楠 早苗**



ふたむら あきひろ
内科医師 **二村 明広**

【専門分野】
腎臓・循環器疾患、腎炎
ネフローゼ疾患、透析治療
【認定医・専門医】
日本内科学会内科認定医
日本腎臓病学会認定医
日本透析医学会認定医
医学博士

患者様の気持ちを理解し 患者様と向き合える人間関係でないといいい医療はできません

医師になろうと思われたきっかけと、内科を選ばれた理由についてお聞かせください。

実家は商売をしていました。商人の環境で両親が忙しいなか育ったため、幼少のころは、細身の病弱で風邪もよく引き、つらい状態でも我慢していました。喘息で呼吸ができなくなり入院したこともありましたが、医師は「大丈夫、大丈夫」と言っただけで治してくれました。その時の病院の朝食は、それまで経験しなかったほど美味しく感じられ、そのおかげでご飯が好きになり体力もつき、毎年つらい思いをした喘息を克服することができたのです。

高校生のときには頭痛に悩まされ、原因が解らなかったため、当時の東海地方には3台しかないといわれた頭部CT検査を受けに2時間かけて名古屋市内の大きな病院まで行きました。異常なしの一言でしたが、

心から安心できました。「病気の不安や痛みで苦しんでいる人を安心させられる医師はすごいな」「自分も病気をもちと解かりたい」との思いになったのが、医師をめざすきっかけです。富山医科大学に入学したころは、内科医とか、整形外科も考えましたが、私は手術には向かないと内科に決めました。

最初は、循環器と腎臓の専門疾患を研修として学び、生命に直結する臓器の診断と治療を学んだことは自信になりました。指導医は厳しい教授でしたから、多くのことを学ぶことができました。

その後、僻地での研修を希望し、鳥根県の病院で院長を経験しました。患者さまの思いを第一にし、家族の気持ちも理解しながら一番良い医療を見つけていきました。患者さまとは家族の一員のような関係ができましたね。時間をかけながら、解り合い、信頼を深めながら、人を診る大切さも学びました。

先生はいつも「和顔愛語」を実践されていますが、何か秘訣がありますか。また家庭ではどのようにされていますか。

秘訣はないのですが、学生時代の体験に依ります。厳しいサークルに入ったのですが、恐ろしい形相の多い先輩の中であって、一人いつもニコニコしてその場を和ませてくれる先輩がいました。とても温かい感じがいいなと思いました。ご存知だと思いますが、身体の中には、ナチュラルキラー細胞（NK細胞）と呼ばれる細胞があり、細菌やウイルス、有害な細胞をやっつけます。

NK細胞は、笑うことにより活性化し、免疫力が高まりますから、ニコニコしているだけで健康になることから「ニコニコ細胞」と呼ぶ医師もいるくらいです。ときには大いに笑い、身も心もリフレッシュして、院内を元気な笑顔でいっぱいになりたいですね。患者さまの笑顔が元気の源になります。

家では威厳ある父親が理想だと思つていますが、私はおおらかな性格なので、つい子供の相手をしていると和んでしまいます。優しさで厳しさの両面が出せれば良いと思いますね。それと子供を注意するときには、ただ叱るだけはいけなと言われまますよ。いいことも悪いことも、できるだけ話を聞いてやりたいです。医療もそうですが、患者さまとは「向き合える人間関係」がないと良い医療はできません。治療法がはっきりしていることでも、一方的に押し付けるのではなく、十分に話を聞き、患者さまの不安を取り除かれるよう、話をしたいかといけません、これは今の大きな課題です。

患者様の病気と人を診る事が大切です。 わかり合い、信頼し合えば 素晴らしい治療効果があらわれると思います。

二村先生が人工透析治療を始められ多くの患者様が治療されていますが、透析についてお聞かせください。

透析治療の看護師、臨床工学技士スタッフは、特有用な知識と技術の習得が必要なので始めたときは大変でした。透析は患者さまの生活の一部ですから、患者さまの普段の様子や思いを知ることにより深い看護、援助ができます。今は、当院での透析を希望される患者様も多くなり見学にも来られるのですが、ベッド数に限りがあります。その一方、在宅で行える透析治療として、

当院でも腹膜透析を始めました。腹膜透析は、お腹に留置した腹膜カテーテルと呼ばれる細い管を利用して行う治療です。その管から透析液と呼ばれる薬液をお腹に注入し、数時間の間、貯めておき、時間が来たらすべて排液します。お腹に貯めている間に尿毒素が透析液に吸収され、血液がきれいになります。余分な水分も吸収するのでむくみもとれます。血液透析のように血管に針を刺すことはなく痛くない治療です。自宅や職場で操作をしていただきますが約20分程度ですみます。しかも操作は一人でできます。日本では全国で1600名の方が腹膜透析を受けていますが、それでも透析患者は26万人といわれますからわずか5%ほどにしかありません。一方、海外（特

に面積の広い国）では病院が遠く離れていて血液透析の通院は困難な事情から、日本よりも腹膜透析が普及しています。腹膜透析中は安静にする必要もないので透析しながら自由に動き回ることができま

す。病院への通院も月2回程度です。幼児から高齢者まで誰でも受けることが可能な治療です。ただし毎日清潔な操作をすることは大切であり、感染症をおこさないように自己管理が必要です。

どつして腹膜透析の普及率が低いのですか。

どの病院でも普及している血液透析に對して、腹膜透析は、腹膜硬化症という合併症がきっかけで一時的に遠ざかれ、その後腹膜透析をしなくなった病院が増えて、経験している医療スタッフが減ってしまったのが大きな原因だと思つています。幸い私は長年の経験があります。また近年は合併症の原因と思われた透析液が改良され安心して行えるようになりました。今後再び注目される治療になると思つています。

気の休まることのない、お忙しい毎日ですがストレス解消に何かされていますか。

子供の頃から野球が好きで、特に東海地方で育つた私は大のドラゴンズ好きです。今では家族も一緒に応援して盛り上がりつつあります。スポーツと言えば、柔道や相撲をしていたので

患者様が病院に何を望まれているのか、患者様は、どういふ医療をしたら満足して帰られるのかを診ますね。病気と同時に、患者様の人を診る事が大切です。人を診るとは、人の心を見る必要があるということです。医療は「心」ですから、それが解決すれば、長い待ち時間も解決するのではないのでしょうか。常に、患者様の訴えに耳を傾け、きめ細かく診察すること、症状や痛みを抑えることがすべてという治療でなく、患者様一人ひとりが生き生きと過ごすためには何が必要かを考える、患者様の嗜好、趣味、生活、その人そのものを知り、共感しているからこそできる診断もあります。

地域のこと、患者様一人ひとりのバックグラウンドを念頭に、患者様の人生に寄り添った医療、笑顔で親身に誠実さをもって患者様に接し、これからも仕事を愛するとともに、人間力を育て、患者様の気持ちの分かる医師として地域医療に貢献していきたいと思つています。



看護部 アイセンター準備室 師長

楠 早苗

「患者様の笑顔」が私の力となり、患者様に笑顔で良い看護をお届けしたいと思う心の「源」になっています。

和顔愛語をモットーに、安心と満足の医療をめざして

わげんあいご



【専門分野】 神経眼科 網膜硝子体
日本眼科学会専門医

眼科医師
木村 友剛

新たに真生会富山病院に赴任した医師を紹介します。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

3月から広島県より赴任いたしました木村友剛と申します。真生会富山病院は平成13年から2年間勤務させていただいておりましたので、5年ぶりに戻ってきたことになりました。5年前に一度退職したあとも、館先生をはじめとして職員の皆さんがよい病院をつくっていかうと、努力をしておられる姿を遠くからみておりましたが、また一緒に働きたいと思い、この度、真生会に戻って参りました。

当時から患者様も多く、とても忙しかったのですが、5年たって、一層患者様は多くなり、さらに忙しくなったことに驚いています。診察までの待ち時間が長く、いつも申し訳なく思っておりますが、最良の医療を提供できるように努力していきたいと思っております。どうぞよろしくよろしくお願いいたします。

この度、真生会富山病院に就職させて頂くことになり、大変光栄に思いますとともに、身の引き締まる思いであります。

平成2年に富山医科薬科大学(現・富山大学医学部)を卒業し、直ちに金沢大学第二内科に入局して、神奈川県、京都、富山、石川の各府県での関連病院で研修しました。特に平成11年の横浜の病院から、本格的に心臓カテーテル治療に取り組みようになりました。

循環器内科医は、いついかなる場合でも、心臓救急の発生に対して迅速かつ正確な対応がとれなければなりません。これは、大きな責任であるとともに、誇りであり、自分の知識や経験が緊急の場で活かされ、救命に結びついたときの喜びはたえようがありません。

これから、皆様方と仲良く語り、仕事ができたらと考えています。宜しくお願い致します。



【専門分野】 循環器内科

内科医師
竹田 のぶや 伸也



【専門分野】 神経内科

内科医師
豊田 しげお 茂郎

神経内科の扱う病気は、脳の病気、神経の病気です。具体的には、脳梗塞、頭痛、認知症、パーキンソン病などが対象です。脳の病気という点、脳神経外科とどこが違うのかと思われる人があられるでしょう。

脳神経外科では、脳出血、くも膜下出血、脳腫瘍、水頭症など、手術を必要とする病気を扱うことが中心です。しかし、これらの病気も症状だけでは、神経内科の扱う病気と区別がつかないことがほとんどなのです。例えば、手足の動きが悪くなったとか、しびれているとか、歩きにくくなった、手が振るえる、呂律がまわらなくなった、飲み込みにくくなった、力が入りにくい、受け答えがはつきりしないなど、これらの症状があったら、神経内科や脳神経外科(脳神経外科は当院にはありません)を受診して下さい。最近の医学の進歩はめざましく、早めに治療を開始して、早めにリハビリを始めれば良くなる病気が多いので、心配なことがあれば何でもご相談下さい。

新任医師のご紹介

内視鏡の先端技術NBI(狭帯域光観察)システムを導入

ESD(内視鏡的早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)エッセンス

通常観察では発見が困難な、喉、食道、胃の早期癌が発見できる画期的な内視鏡診断システムと、早期癌では、お腹を切らずに内視鏡カメラにより病変を一括切除する内視鏡治療を行っています。



消化器内科
まつむら たかゆき
松村 孝之

【専門分野】 胃・大腸、胆のう・膵臓、内視鏡治療、便秘治療
【所属学会】 日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓病学会、日本胃癌学会

真生会富山病院の内視鏡室に、早期癌を見つけて出す最新鋭のカメラが入りました。早期癌をあぶりだす特殊な光(NBI)を備えたカメラで、ハイビジョン映像で見ることの出来る優れたものです。また、100倍に拡大観察することが可能で、小さな癌もつばさにみることが出来ます。

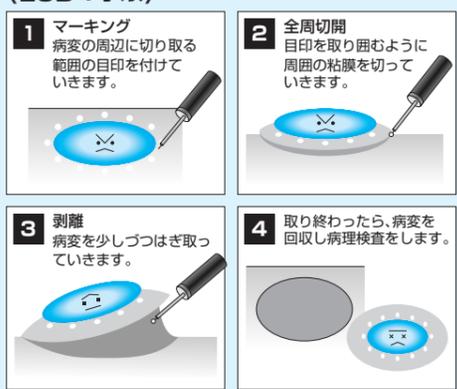
最先端のハイテク装備を持つカメラの威力は絶大で、喉や食道、胃の早期癌がよく見つけられ、大変な注目を集めています。今までは、顕微鏡でしか分からなかった癌のタイプ、癌の広がる範囲をもよくうつし出し、早期癌の発見には実に頼りになるカメラです。この特殊光NBI(狭帯域光観察)

を用いたカメラは、血管のヘモグロビンに強く吸収される2種類の波長(415nm、540nm)の光を用います。415nmの光が達するのは粘膜表面までで、粘膜表面の細かな血管構造を茶色で描き出します。540nmの光は粘膜深層まで達し、比較的太い血管を描出します。これら2種類の波長で癌表面に特有の血管構造や細かな模様を際立たせ、100倍まで拡大可能な観察で、より的確に癌・非癌を見分けることが出来るようになりました。

ESDとは内視鏡的早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術という、早期癌に対する最新の内視鏡的治療です。従来の内視鏡的粘膜切除術(EMR)では、切

除できる病変の大きさに限界があり、正確に病変を切除するのが難しいという欠点がありました。病巣が2センチを超えると手術で胃を切除しなければなりません。胃を切除すると、消化不良、食物が急激に腸に流れこむことで起こるダンピング症状(動悸、めまいなど)などの後遺症に悩む例もあります。

ESDの手順



ESDは病巣が2センチを超える大きさでも、病変周囲を切開し粘膜下層を剥離し切除します。ESDは良性的腫瘍や早期癌では手術と同じ効果が得られます。従来なら手術の対象になっていた病変も胃を残せるこ

平成21年9月南館竣工に向けて

南館概要

- 管理ゾーン
浴室
4階 (*浴室は新館の大浴場と合わせ2つとなります。)
- 手術室ゾーン
眼科手術ゾーン(2室 3ベッド)
- 病棟ゾーン
眼科病棟(1床室 14床 2床室 6床)
- 3階
- 外来ゾーン
診察室 耳鼻科 1~2診・眼科 1~6診
- 2階
- 救急ゾーン
外科系救急室と内科系救急室が一画化され、新設されます。
- 外来ゾーン
診察室 内科 1~7診・泌尿器科・小児科
- 1階

めまぐるしく進歩している医療の動向に合わせて、今後の更なる改善を目指して、南館の建設を進めています。南館は4階建てで、内科、眼科、耳鼻科、小児科、泌尿器科、救急室等が設けられます。特に2~3階には、眼科専用の手術室・病室を含めた「アイセンター」と最新の医療機器の導入を行い、地域の皆様に安心と満足の医療を受けていただけるよう一層の充実を図っていきたく考えています。

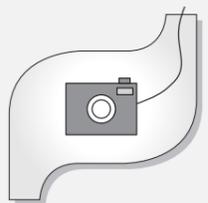


南館

癌は早期発見・早期治療で治せる病気

リンパ節の移転がなく、潰瘍を伴わない早期癌の治療に大きな進歩をもたらしたESDですが、大切なことは、ESDで治るような早い時期に癌を見つけることです。

早期の癌はほとんど症状がないので、定期的に、早期発見・早期治療につながる内視鏡検査を受けるようにしてください。



※NBI(ナノメーター10のマイナスイオン9メートルのこと)

ご意見箱



病院をご利用してのご感想、ご意見などがありましたらご投函ください。
頂いたご意見、ご要望は検討の上、今後の病院運営に反映させるよう努めてまいります。なお、ご意見、ご要望に対しては、可能な限り病院としての回答を掲示させていただきます。



PTC推進室 木倉 スミ子

皆様のご意見・ご要望をお聴きするために、「ご意見箱」を設置しています。

〇〇意見

受付の対応が事務的で、大変気分が悪かった。もっと親切にしてほしい。

■回答

心身共におつらい中、楽になりたいと思っただけで来院される患者様に、さらにご負担をおかけすることは大変申し訳ないことです。患者様から寄せられる苦情やご意見はみんな共有し、反省や対応の向上に努めています。まだまだ至らない状況です。日々のミーティング、研修等で、いっそう対応の向上に努めて参りたいと思います。率直なご意見をぜひお寄せください。今後ともよろしく願っています。

〇〇意見

正面玄関前の障害者用駐車場にむやみに駐車している車が多く、歩行困難のある私は玄関までが遠く、苦労しています。本当に困っている人達が停められるように対処していただけないでしょうか。

■回答

ご負担をおかけして、申し訳ありません。現在南館の建設工事のため駐車場が狭く、第2駐車場をご利用いただいている関係もあるのではないかと考えられます。健常者や、障害のある患者様を乗せて来られた方が、そのまま駐車して行かれることもありまして、障害者用の駐車場はすぐにいっぱいになってしまっています。特に混雑する月曜と土曜日の午前中は、職員を配置して誘導に努めますが、毎日、一日中職員を配置することは現在難しい状況です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、障害のある方が運転される場合は、真生会発行の駐車許可証をお渡ししています。総合受付か、黄色いユニフォームのフロアマネジャーに声をかけください。

地域医療最前線 医療連携で地域を支える 開業医訪問



脳神経外科・整形外科
内科・神経内科
北林クリニック

院長 **北林 正宏**
日本脳神経外科学会専門医・日本脳卒中学会専門医
日本頭痛学会専門医・医学博士
射水市戸破1704-1 TEL0766-57-0008
診療時間／平日 AM 9:00～12:00
(土曜のみ～13:00)
PM 15:00～18:00
休診日／日曜、祝日 水、土曜は午後休診

北林クリニックは、脳神経外科・整形外科・内科・神経内科を標榜科目として、平成17年4月、戸破元町交差点角に開業した。北林院長は、金沢大学脳神経外科医、厚生連高岡病院脳外科医として、日本人に多い脳卒中や脳などの頭部全般の障害治療を集中的、専門的に行ってきた。「進路を考えていた高校一年の時に、父が脳血管障害で亡くなったから、医師だと思ったのかな？脳神経外科を目指したのかな？」と言って、旧大島町で生まれた北林院長は、医師になった動機を振り返って笑う。

「平均寿命が延び、生活、経済、環境など急激な変化によって、生活習慣病の増加と心身の疾患を生み、すべての世代を通して健康に対する関心と不安が増しています。日常の診療に責任を持ち、疾病の予防から環境の改善まで専門的知識、技術による幅広い対応が求められています。患者さんの立場に立った医療を行い、どんなことでも気軽に相談できるクリニックと

部分を担当しているホームドクターである。特に頭痛で苦しんでいたら相談に来てほしい、県内でも数少ない頭痛の専門医です。からと、白髪に手をやりニッコリ。「日常の診察、投薬については、私たち開業医が診て、患者さんの状況、ご希望に基づいて、疾患にあわしい医療機関を紹介しています。出来ること、出来ないことがありますので、役割分担を明確にし、開業医と病院の連携をとることで患者さんも安心していただける医療連携は大切です。」身近な診療に重点をおき、高度医療機関への橋渡し役であり、地域に密着した医療アドバイザーでもある。

「地域医療は、その人の暮らしにも目を向け、クオリティオブライフ(生活と人生の質)を重視し、病気を治療するのではなく、病気を抱えている患者さんの心もつた医療を提供できればいいと思います。」自然の中で育ったふるさとみず野で、北林院長の素朴な人柄と血の通った地域医療が今日も続けられている。

して、いつでも安全で安心して受けられる医療を目指し、安全対策、安全管理の研修や教育にも取り組んでいる。いつも患者さんの目線に立って、疾病予防、生活習慣病の予防、日常のめまい、しびれ、高齢者に多い脳卒中、脳出血、脳梗塞、脊髄障害などに力を入れ、いわゆる寝たきりの大きな要因とされる

職場体験学習 社会に学ぶ「14歳の挑戦」

平成21年5月の4日間、当院でも「14歳の挑戦」が行われました。わずか4日間でしたが、参加した射水市内の中学生は多くのことを学んでくれたようです。代表して2名の生徒の感想(抜粋)です。

●大門中学校 2年男子生徒

4日間を通して僕はとても多くのことを学びました。活動をする前は「働くのはお金を稼ぐため」と思っていました。病院は患者さんや周りの多くの方を幸せにするところであり、そのために働くのだということを知られました。(中略)病棟では、患者さんの気持ちになって考えることはもちろん、積極的に声をかけて患者さんの不安を取り除くことの大切さを学びました。声をかけることで自分もうれしくなり、その大切さを痛感しました。仕事は自分から見つけていくこと、自分がリーダーシップをとって行動することが自分の中で最も大切なことなのだということ、を、「14歳の挑戦」で学びました。

●小杉中学校 2年女子生徒

短い間でしたが、真生会富山病院で働かせてもらい、良い経験をたくさんさせてもらい、少し成長したと思います。たとえば、初日に行った時は、すごく緊張して、あいさつや返事が十分できませんでした。でも働くうちに、徐々に看護師の方だけでなく患者さんに対しても笑顔であいさつができるようになりました。(中略)この4日間で「働くことは大変なことだけど、やりがいのあること」とすごく感じました。

※14歳の挑戦とは、富山県内の中学2年生を対象として行われている、職場体験学習のことです。各自が興味を持った職場・職種へ、職場体験に行きます。



ちょっと一言

洗浄滅菌室について

旧中央材料室は、4月より洗浄滅菌室に部署名が変わりました。洗浄滅菌室では、昨年からは一次洗浄中央化への準備を進め、今年の3月から開始することができました。一次洗浄とは使用した器材を最初に洗う作業を言います。洗浄はジェット洗浄・超音波洗浄・恒温器洗浄(手洗い洗浄)の3種類で行い、滅菌は器材の材質や用途に応じてAC(高圧蒸気滅菌)・EOG(エチレンオキシドガス)・プラズマ・MIAACを選択して行っています。年々、増加する手術件数と一次洗浄中央化に伴い、洗浄滅菌室に持ち込まれる器材も増えましたが、洗浄滅菌スタッフが協力し合い、安心して安全な滅菌物を届けられよう日々頑張っています。



私のおすすめSPOT



健診課 村瀬 由佳

「ばんや料理 ひみ浜」をご紹介します。ここは水見漁港に近い「漁師の店」。魚のおいしい冬場には決まって足を運びます。メニューは単品からコースまであり、手頃なところで焼き魚定食などがオススメです。(店のご主人には「うちに来て刺身食べないの?」と言われそうですが)。朝とれの地魚を提供しているので、どんな魚が出てくるかは注文してからのお楽しみ。どれも家庭では真似できない豪快さです。粗塩タップリのふ厚いブリが出てきた時は、一口食べて大感激!小鉢や汁物も磯の香りでいっぱいです。ネタが尽きたら閉店、夜は予約コースのみです。特に県外の客人には大好評なので、おもてなしをする時はここと決めていきます。富山湾の海の幸を堪能したい方、是非「ひみ浜」へ行ってみてください。

漁師の店 ばんや料理 ひみ浜
富山県水見市比美町21-15
Tel 0766-74-7444 Fax 0766-74-7445
●営業時間／午前11時～午後2時
夜は予約での営業(4名様より)
●定休日／不定休(ご連絡ください)
●駐車場／隣に公共無料駐車場あり



「移りゆく毎日の旬」を、季節そのまま、まるごと堪能。水見の数ある食材の中でも、こだわり抜いたものだけを、お客さまにお出しするわがまなお店です。

診療案内

診療科

内科・消化器内科・呼吸器内科
神経内科・小児科・外科・整形外科
耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科・心療内科
精神科・泌尿器科・麻酔科
リハビリテーション科・放射線科・歯科

診療日・外来受付時間

(午前7時30分～ 午前のみ整理券配付)
平日 午前8時～午前11時30分
(診察は午前9時から)
午後4時～午後7時30分
(診察は午後5時から)
土曜日 午前8時～正午12時
(診察は午前9時から)

休診日 日曜日、祝日、土曜日午後
※休診時間帯は当番医師が待機しております。

全科往診・在宅診療・人工透析・人間ドック

24時間救急診療

保険証は、毎月提示をお願いしています。
必ずご持参ください。

院外処方せん

当院では原則として「院外処方」としております。
当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局でお薬をお受けとってください。

24時間救急診療のご案内

真生会富山病院では、診療時間外の急な病気にに対し、年中無休で24時間日当直医が対応しております。

平日 午後7時30分から翌朝9時まで
土曜日 午後12時30分から
日・祝日 救急診療24時間対応

●救急診療受付電話

☎0766-52-2156

※来院する前になるべくお電話を。
※保険証は忘れずお持ちください。

専門外来 完全予約制

特定の臓器や病気、症状について専門的な診断・治療をする外来です。診断・治療が難しい体の症状や、専門的な治療が必要な病気などについて各専門の医師が診察にあたります。予約制で、きめ細かな医療サービスの提供を心がけています。

専門外来をご希望の方は、外来診察予定表をご覧ください。通常の診察時間に専門医を受診してご予約ください。急患の方は、内科救急で受け付けています。

真生会富山病院 総合受付 TEL0766-52-2156

新規事業拡張につき スタッフ募集

正看護師	10名	薬剤師	1名
看護助手	若干名	臨床工学技士	若干名
保健師	若干名		

●院内保育施設あります。
応募資格／免許有資格者(歯科助手以外)
(取得見込み者を含む)

※勤務時間等、詳細はお問い合わせください。

●スタッフ募集に関するお問い合わせ
TEL0766-52-2156 人事担当/吉田



歯科衛生課スタッフ

歯科衛生課

歯周病、虫歯予防、インプラント、ホワイトニング お口の健康のトータルアドバイザー

・笑顔で自信を持って会話できる
・おいしいものを思いっきり楽しめる
・歯を食いしばって踏ん張り、可愛い孫を抱き上げられる

『一生自分の歯を残す事』がその人にとってどんな幸せを実現するか。歯の健康や美しさに対する患者様の価値観はお一人お一人違います。自分の歯を残したい、という患者様のお気持ちに応えたい。残念ながら悪くなってしまった歯でも、できるだけ守り、快適に過ごしていただきたい。おいしくお食事をする事が、健康の第一歩、そのために、失ってしまった歯の機能をどう回復するべきか、最適な方法を共に考えてゆきたい。「歯医者が、嫌いよ」と泣いている子供に、「歯医者さん大好き」と笑って欲しい。

私たち歯科衛生課13名のうち歯科衛生士11名が毎日、歯科の2大疾患である、歯周病治療と、虫歯予防の業務、アシスタント業務はもとより、患者様のお口の健康のトータルアドバイザーになれるよう、日々、技術と知識の向上に励んでいます。日本歯周病学会認定歯科衛生士や、日本歯科審美学会認定ホワイトニングコーディネーターなどの資格も取得しています。

歯科助手は診療室全体を見渡し、環境整備を行っています。歯科技工士は、歯に入れる技工物の作成、義歯の修理など、より快適な機能回復ができるよう、奮闘しています。インプラント、ホワイトニングなど、患者様の治療の要望も多様になり、いろいろな治療の幅が広がっています。

望も多様になり、いろいろな治療の幅が広がっています。

番号表示サービスについて

平成21年5月13日より、番号表示サービスを開始しました。

番号表示サービスとは、診察が近づいたことを「番号表示画面」で確認できるシステムです。診察が近づくと、「番号表示画面」に患者様の受付番号が表示されます。

「番号表示画面」は各科待合だけでなく、ふれあいサロンやプレイルーム、総合待合、レストラン・グリーンハットにも設置されていますので、患者様には待合室以外の場所で待ち時間を過ごしていただくことができます。

同時に、患者様のお呼び出しをフルネームではなく、受付票の受付番号(または受付番号と性)でお呼びしますので、プライバシーへの配慮にもつながっています。

なお、必要に応じてお名前前でお呼びすることもできますので、ご希望の方は受付スタッフまでお知らせください。

皮膚科・泌尿器科				
診察室ドアの近くでお待ちください。				
541	544	565	588	590
603	612	623	680	706
以下の方は、皮膚科受付までお越しください。				
508	580	700		
1234				

